

び「トランプ砲」

最高経営責任者(CEO)ら日米欧韓の大手自動車の幹部がそろって参加。トランプ氏は、各社に米国生産を求めるなかで、特に北米トヨタのレンツCEOに対して工場建設を要求。「困難なことを言っているのは分かっているが、ここに建設しなければならない」とも訴えた。

トランプ氏は1月にツイッターへの投稿で、トヨタのメキシコでの新工場建設計画で「米国に工場を造るか、巨額の税金を払うかどちらかだ」と批判。その時は数日後に豊田章男社長が今後5年間で米国に100億ドル(約1兆1300億円)を投資すると発表。その後も米国で雇用に貢献していることをアピールしてきたが、トランプ氏には響かず再び矛先を向けられた格好だ。

今回のトランプ氏の要求について16日、東京都内で記者団の取材に応じたトヨタの福市得雄専務役員は「今後どうなるか分からないので注意深く(今後の発言を)見守りたい」と述べた上で、米国でのトヨタの雇用に対する寄与度や投資計画を粘り強く訴え続ける考えを示した。

一方、日本自動車工業会の西川広人会長(日産自動車副会長)は「新政権の方針の中で、各社が検討していくことになる」との見通しを示した。

要求した。トランプ氏もトヨタの新工場の建設について、メキシコから米国するよう同社に迫っておらん氏の「口撃」をトかわせずにいる。

には米自動車大手ゼネラーターズ(GM)のパーラ



の幹部
(AP)

界に対する主な発言
新工場建設について)
額の税金を払うかどち

のなら公平ではない。
ホワイトハウスでの企

月24日、ツイッターで
設しなければならぬ
土の幹部との会談で)

高級「LC」を発売

搭載したハイブリッド車)モデル「LC500h」速から高速までスムーズを目指したという。13日に発売する5缸エン

ジンの「LC500」は、迫力のあるエンジン音と力強い走りを可能にした。どのタイプも車体にはアルミニウムなどを採用し、軽量化を進めた。

トヨタの福市得雄専務役員は東京都内で開いた発表会で「(レクサスの)新しい時代の始まりを象徴するモデル。人々を移動させるだけでなく、五感



バンサーン・ブンナーク 1959年タイ・バンコク出身。米デトロイト大大学院国際政治経済修士号。84年、タイ外務省入省。駐ミャンマー大使、駐ポーランド大使、駐シンガポール大使などを歴任。2016年1月から駐日大使。

interview

—日本とタイが外交関係樹立130周年を迎えた

「タイと日本は、王室と皇室、両国民が親密な関係で結ばれている。タイのプラユット首相は安倍晋三首相とこれまで6回会談し、国民の往来も盛んだ。2016年にタイから日本を訪れた観光客は前年比6.5%増の約90万人(タイ統計基準によるデータ)、日本からタイへの観光客は同2.1%増の約144万人だった。昨年、プミポン前国王が崩御した際、日本から寄せられた哀悼の意にタイ国民は感謝している」

—タイの足元の政治状況は

「安定している。現政権はこの2年間、政治不信の原因となった社会的格差や汚職問題などの解決に努めてきた。今後も人材育成やインフラ整備、労働基準や貿易・投資の規定を時代に合わせて改善し、民政復帰へのロードマップを基に進んでいく」

—多くの日系企業がタイへ投資している。海外投資誘致に向けた経済政策の方向性は

「事業総額1.5兆円(約5兆円)となる東部経済回廊の周辺開発および投資奨励計画を進めている。鉄道路線や深海港を拡張するなどインフラを再整備し、次世代自動車やスマート電子、メディカルツーリズムなど10分野の奨励産業を受け入れる。日本企業の参画も期待している。タイは地理的に人口約6億人のマーケットであるASEAN(東南アジア諸国連合)の中心に位置しており、最良の戦略拠点だ」

—タイはMICE(国際会議や展示会などビジネスイベントの総称)産業も強化する

「日本に特化したさまざまな戦略を実行していく。対象イベントに最高200万円(約650万円)の助成金を支給するインセンティブ制度もその一つ。今年、日本からのMICE旅行者が5%増加すると見込んでいる」

駐日タイ王国大使

バンサーン・ブンナークさん(57)

国際会議など日本特化の戦略実行

